



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月9日

上場会社名 マイクロ波化学株式会社 上場取引所 東
コード番号 9227 URL <https://mwcc.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 吉野 巖
問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 池本 直 TEL 06-6170-7595
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期の業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期	1,608	△13.7	187	39.4	182	39.1	161	—
2024年3月期	1,863	53.3	134	124.6	130	401.9	△944	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年3月期	10.24	9.90	16.8	9.1	11.7
2024年3月期	△61.12	—	△73.8	5.3	7.2

（参考）持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 △743百万円

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期	2,124	1,064	50.1	67.12
2024年3月期	1,894	856	45.2	54.81

（参考）自己資本 2025年3月期 1,064百万円 2024年3月期 856百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	△73	△147	198	507
2024年3月期	205	△797	△124	529

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年6月期の業績予想（2025年4月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 1,613	％ －	百万円 △853	％ －	百万円 △864	％ －	百万円 △884	％ －	円 銭 △55.76

（注）2025年6月25日開催予定の定時株主総会に付議する予定の定款一部変更（事業年度の末日の変更）に関する議案が原案どおり承認されることを条件として、決算期（事業年度の末日）を3月31日から6月30日に変更する予定であり、これに伴って、決算期変更の経過期間となる2026年6月期は、2025年4月1日から2026年6月30日までの15カ月決算となることを予定しております。このため、対前期増減率については記載しておりません。なお、本日時点では本定時株主総会の開催前であることから、業績予想以外の項目においては、従来どおり「2026年3月期」と表記しております。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	15,852,700株	2024年3月期	15,621,900株
② 期末自己株式数	2025年3月期	10株	2024年3月期	10株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	15,773,208株	2024年3月期	15,459,593株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- ・決算短信の開示とあわせて、決算説明資料を開示しています。
- ・当社は、2025年5月15日（木）に、投資家向けに決算説明会を開催する予定です。決算説明会の動画については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

製造業の中でも化学産業は、原料や素材を担う産業として経済の発展を支えてきました。しかしながら、多くの製品や製法にイノベーションが起こる中、同産業は長きにわたってその登場からほとんど姿を変えておらず、現在も未だ重厚長大のエネルギー大量消費型のプロセスが多く残っています。

当社は、「何を作るか」ではなく「どのように作るか」に着目し、製造プロセスを化石資源由来の「熱と圧力」から電気由来の「マイクロ波」に置き換えることで、「省エネルギー」・「高効率」・「コンパクト」な環境対応型プロセスのグローバルスタンダード化を目指す技術プロバイダーです。

当社は、「デザイン力」及び「要素技術群」からなる技術プラットフォームを駆使して、顧客課題に応じて、ラボ開発、実証開発といった研究開発フェーズから、実機製作、製造支援といった事業フェーズまでをワンストップでソリューションとして提供しております。現在では、炭素素材、ケミカルリサイクル、金属製錬/鉱山プロセス、電子材料、医薬品などの幅広い分野において研究開発のパイプライン拡充及び積極的な事業開発活動を行っております。

近年、地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、「カーボンニュートラル」を目指す動きが世界的に加速しております。わが国でも2020年10月、臨時国会で「2050年カーボンニュートラル」が宣言されたことを受け、経済産業省により2兆円のグリーンイノベーション基金が造成されるなど、二酸化炭素排出の削減を経営課題として取り組む企業等に対して、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援を行う機運が高まっております。

マイクロ波プロセスは、従来の「外部から」「間接的」「全体」にエネルギーを伝達するプロセスに対して、「内部から」「直接的」「ターゲットした物質」に効率的にエネルギーを伝達することが可能であり、エネルギー削減を実現することができます。さらに、2000年代以降、安価、かつ発電量が増えてきた自然エネルギー由来の電気と組み合わせた「電化」のプロセスとして大幅な二酸化炭素削減が可能であるため、カーボンニュートラル実現に向けた有望なキーテクノロジーとして注目されております。

実際に当社では複数の化学企業と協業しながら、従来の製造プロセスを当社技術プラットフォームによって革新していく共同開発プロジェクトを進めております。具体的に当事業年度に推進した主要な開発プロジェクトとして下記が挙げられます。

- ・金属製錬/鉱山プロセスにおけるマイクロ波を利用した標準ベンチ装置を完工。
- ・ニッケル鉱石の製錬技術に関する太平洋金属株式会社との共同開発において、マイクロ波標準ベンチ装置を用いたニッケル鉱石の煅焼及び還元に成功。
- ・株式会社MiRESSOとの間でベリリウム製造実証におけるマイクロ波加熱反応器の設計及び製造に関する業務委託契約を締結。
- ・鉱石製錬用のマイクロ波回転炉床炉の設計及び製造に関する中外炉工業株式会社との戦略的提携を発表。
- ・南鳥島沖海底に存在するマンガンジュエル鉱石の製錬に関して、東京大学が採択された東京都の支援事業^{*}に参画し、マイクロ波を用いた鉱石の煅焼試験を開始（※「GX関連産業創出へ向けた早期社会実装化支援事業」における「海底鉱物資源の製錬方法の開発」）
- ・マイクロ波ケミカルリサイクルにおいて、「小型分散型」「連続式」の技術形態を検証することを目的として、連続運転可能な実証機を完工。
- ・株式会社レゾナック・ホールディングスと進めていた、使用済みプラを直接基礎化学品へ再生するケミカルリサイクルの共同開発において、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「グリーンイノベーション基金事業」に採択され、技術開発を本格化。

このように、既存の開発案件を着実に進めつつ、新領域の開発案件獲得にも取り組んだ結果、当事業年度は、新規案件獲得数は通期計画29件に対して24件、契約済みの案件総数は通期計画61件に対して71件となりました。

以上の結果、当事業年度における経営成績は、売上高1,608,403千円（前年同期比13.7%の減少）、営業利益187,394千円（前年同期比39.4%の増加）、経常利益182,126千円（前年同期比39.1%の増加）、当期純利益161,482千円（前年同期は944,895千円の当期純損失）となりました。

また、当社は、マイクロ波化学関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は2,124,539千円となり、前事業年度末に比べ229,565千円増加しました。これは主に、現金及び預金が増加した22,309千円、リース資産が19,936千円それぞれ減少したのに対し、売掛金が294,232千円、仕掛品が27,835千円、

ソフトウェアが15,408千円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は1,060,531千円となり、前事業年度末に比べ21,849千円増加しました。これは主に、契約負債が157,875千円、未払法人税等が18,818千円それぞれ減少したのに対し、長期借入金が151,440千円、買掛金が64,013千円、1年内返済予定の長期借入金が20,706千円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は1,064,007千円となり、前事業年度末に比べ207,715千円増加しました。これは、利益剰余金が161,482千円、資本金及び資本準備金がそれぞれ23,116千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ22,309千円減少し507,095千円となりました。

当事業年度におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、73,516千円の支出（前事業年度は205,747千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益164,332千円、減価償却費101,904千円、固定資産除却損31,694千円、未収入金の減少額69,683千円、仕入債務の増加額64,013千円を計上したのに対し、売上債権の増加額294,232千円、契約負債の減少額157,875千円、棚卸資産の増加額31,293千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、147,235千円の支出（前事業年度は797,816千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出117,001千円、有形固定資産の除却による支出29,809千円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、198,443千円の収入（前事業年度は124,794千円の支出）となりました。これは主に、リース債務の返済による支出19,936千円を計上したのに対し、長期借入れによる収入180,000千円、株式の発行による収入46,233千円を計上したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社は事業年度を「毎年4月1日から3月31日まで」から「毎年7月1日から6月30日まで」に変更するための定款変更を行うことを予定しており、これに伴って、経過期間である2026年6月期は2025年4月1日から2026年6月30日までの15ヶ月間の決算期間となります。

2026年6月期につきましては、前事業年度に引き続き「カーボンニュートラル」に貢献する開発テーマを中心に、顧客との共同開発を着実に進めてまいります。

2026年6月期業績予想としては、売上高1,613百万円、営業損失853百万円、経常損失864百万円、当期純損失884百万円を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	529,404	507,095
売掛金	304,721	598,953
仕掛品	12,471	40,306
貯蔵品	—	3,457
未収入金	194,697	12,152
関係会社短期貸付金	580,000	—
立替金	9,776	—
前払費用	19,835	23,968
前払金	52,676	28,325
貸倒引当金	△710,019	—
流動資産合計	993,563	1,214,259
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	169,954	164,617
構築物（純額）	41,668	37,793
機械及び装置（純額）	264,932	256,822
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	6,522	4,279
リース資産（純額）	315,373	295,436
建設仮勘定	18,359	50,896
有形固定資産合計	816,810	809,847
無形固定資産		
ソフトウェア	6,232	21,641
その他	500	250
無形固定資産合計	6,732	21,891
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
関係会社株式	0	—
差入保証金	76,530	75,364
その他	1,337	3,176
投資その他の資産合計	77,867	78,540
固定資産合計	901,410	910,279
資産合計	1,894,973	2,124,539

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,578	68,591
1年内返済予定の長期借入金	7,854	28,560
未払金	121,554	77,061
未払費用	47,443	47,351
資産除去債務	—	13,800
リース債務	19,936	15,207
未払法人税等	25,098	6,280
未払消費税等	22,590	35,938
契約負債	287,375	129,500
預り金	4,668	4,425
流動負債合計	541,099	426,716
固定負債		
長期借入金	202,146	353,586
リース債務	295,436	280,229
固定負債合計	497,582	633,815
負債合計	1,038,682	1,060,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,848,631	2,871,747
資本剰余金		
資本準備金	550,184	573,301
資本剰余金合計	550,184	573,301
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△2,542,510	△2,381,027
利益剰余金合計	△2,542,510	△2,381,027
自己株式	△14	△14
株主資本合計	856,291	1,064,007
純資産合計	856,291	1,064,007
負債純資産合計	1,894,973	2,124,539

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,863,320	1,608,403
売上原価	742,914	533,375
売上総利益	1,120,406	1,075,027
販売費及び一般管理費	985,997	887,633
営業利益	134,409	187,394
営業外収益		
受取利息	171	252
受取手数料	1,264	1,161
為替差益	2,167	790
その他	350	29
営業外収益合計	3,954	2,234
営業外費用		
支払利息	7,469	7,502
営業外費用合計	7,469	7,502
経常利益	130,893	182,126
特別利益		
固定資産売却益	—	3,975
補助金収入	80,771	11,590
特別利益合計	80,771	15,565
特別損失		
固定資産除却損	21,149	31,694
固定資産圧縮損	53,504	1,666
関係会社整理損	1,029,464	0
投資有価証券評価損	4,999	—
特別損失合計	1,109,118	33,360
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△897,453	164,332
法人税、住民税及び事業税	17,614	2,850
法人税等調整額	29,827	—
法人税等合計	47,442	2,850
当期純利益又は当期純損失 (△)	△944,895	161,482

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金			
				繰越利益剰余金			
当期首残高	2,801,053	502,607	502,607	△1,597,614	－	1,706,045	1,706,045
当期変動額							
新株の発行	47,577	47,577	47,577	－		95,155	95,155
当期純損失（△）				△944,895		△944,895	△944,895
自己株式の取得					△14	△14	△14
当期変動額合計	47,577	47,577	47,577	△944,895	△14	△849,754	△849,754
当期末残高	2,848,631	550,184	550,184	△2,542,510	△14	856,291	856,291

当事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金			
				繰越利益剰余金			
当期首残高	2,848,631	550,184	550,184	△2,542,510	△14	856,291	856,291
当期変動額							
新株の発行	23,116	23,116	23,116	—		46,233	46,233
当期純利益				161,482		161,482	161,482
自己株式の取得					—	—	—
当期変動額合計	23,116	23,116	23,116	161,482	—	207,715	207,715
当期末残高	2,871,747	573,301	573,301	△2,381,027	△14	1,064,007	1,064,007

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△897,453	164,332
減価償却費	79,261	101,904
差入保証金償却額	1,095	1,095
固定資産売却益	—	△3,975
固定資産除却損	21,149	31,694
固定資産圧縮損	53,504	1,666
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,999	—
関係会社株式評価損	319,444	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	710,019	—
受取利息	△171	△252
支払利息	7,469	7,502
売上債権の増減額 (△は増加)	31,968	△294,232
棚卸資産の増減額 (△は増加)	21,887	△31,293
未収入金の増減額 (△は増加)	△34,973	69,683
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,450	13,347
前払金の増減額 (△は増加)	70,123	4,351
前払費用の増減額 (△は増加)	△3,795	△3,147
立替金の増減額 (△は増加)	283	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,379	64,013
未払金の増減額 (△は減少)	34,458	△16,672
未払費用の増減額 (△は減少)	1,340	△91
契約負債の増減額 (△は減少)	△120,475	△157,875
その他	△3,643	3,601
小計	229,663	△44,347
利息の受取額	9	252
利息の支払額	△7,469	△8,488
法人税等の支払額	△16,456	△20,933
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,747	△73,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	—	3,975
有形固定資産の取得による支出	△274,694	△117,001
有形固定資産の除却による支出	△21,000	△29,809
無形固定資産の取得による支出	△500	△4,470
関係会社貸付けによる支出	△500,000	—
差入保証金の差入による支出	△1,622	—
差入保証金の回収による収入	—	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△797,816	△147,235
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	180,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△7,854
株式の発行による収入	95,155	46,233
リース債務の返済による支出	△19,936	△19,936
自己株式の取得による支出	△14	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,794	198,443
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△716,864	△22,309
現金及び現金同等物の期首残高	1,246,269	529,404
現金及び現金同等物の期末残高	529,404	507,095

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	1,203,000千円	－千円
持分法を適用した場合の投資の金額又は持 分法を適用した場合の負債の金額(△)	△710,019	－
(注) 関連会社に対する投資の金額は、前事業年度までに1,202,999千円の減損を行っております。また、ティエムティ 株式会社は2024年12月16日付で清算が終了したため、当事業年度末において当社が保有する関連会社株式はありません。		
	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の 金額	△743,512千円	－千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、マイクロ波化学関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	54円81銭	67円12銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△61円12銭	10円24銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－	9円90銭

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純
損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失、及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎
は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△944,895	161,482
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益又は 当期純損失(△) (千円)	△944,895	161,482
普通株式の期中平均株式数 (株)	15,459,593	15,773,208
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額 (千円)	－	－

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
普通株式増加数 (株)	—	536,573
(うち新株予約権 (株))	(—)	(536,573)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。